

# 逃れがたきは死の縁なり

新型コロナウイルス感染症、なかなか収束しませんね。十月六日現在、国内での感染確認例は八万六千七百五十人、お亡くなりになられた方は千六百十一人だそうです。いまだに入院あるいは療養中の方は五千三百五十一人。

もはや、コロナウィルス用のワクチンが開発され全国民に投与されなければ、安心して以前の様な生活を送れるようにはならないのかなと思っ

てしまいます。お通夜・葬儀の形態は変わってしまい、ご法事も仏参でつとめたり、ご自宅ですとめてもお齊は法要後に参詣者に配り、それぞれのご自宅で召し上がっていただくというケースがあります。いずれも密を避けて少人数で感染拡大を防止することに配慮されたためです。

ご縁から、亡き人のお導きを受け阿弥陀さまのあなただを見捨てたりしません。必ずその身をそのまま救います

というお慈悲に気づかさせていただく法縁といただいています。そしてその法縁は多くの方に届けられなければならないと思います。

だからこそ、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、通常の生活に戻らなければと念じています。

ところで、親鸞聖人は九十歳、蓮如上人は八十五歳の齡で往生なさいました。

これは推測ですが、親鸞聖人や蓮如上人ご在世の頃の平均寿命はおそらく四十歳にはなっていないかと思えます。お二人はとてつもないご長寿をいただかれたのです。ではなぜそんなに当時の平均寿命が短かったのか、そ

れは当時が戦乱の多い世であり、また、疫病が流行り、一度に多数の方が亡くなっていたからでしょう。

親鸞聖人も蓮如上人もそれぞれ流行り病(疫病)のことについてふれられています。親鸞聖人は『御消息』第十六通に

何よりも、去年から今年にかけて、老若男女を問わず多くの人々が亡くなったことは、本当に悲しいことです

と疫病で多くの方が亡くなられたことを嘆き悲しんでおられます。

蓮如上人は『御文章』四帖目第九通に  
 当時このごろ、ことほかに疫病(疫癘)で人々が亡くたつたことを示しておられます。ただ、親鸞聖人は

命あるものは必ず死ぬという無常の道理は、すでに釈尊が詳しくお説きになられている。とお述べになり、

蓮如上人は疫病によりてはじめて死するにはあらず。生まれはじめしよりして定まれる定業なり。

とお示しくださいます。そして、お二人とも「人間、命終えていくことについて、そんなに驚くことではないですよ」

と、死の直接の原因は病気や事故によるものではなく、生まれてきたからだと教えてくださいます。

役場に勤めていた頃、死亡診断書の死因を記入する所に、老衰や心不全などと様々な記載があるものを見てきました。が、本当の死因は「生れてきたこと」が正しいと知らされず。私も人として命いただいた限り、逃れることができない死の無常の縁といただくことです。

## 法語の世界

### 《原文》

おなじく夢にはく、翌年極月二十八日の夜、前々住上人(蓮如)、御袈裟・衣にて襖・障子をあげられ御出で候ふあひだ、御法談聴聞申すべき心にて候ふところに、ついたり障子のやうなる物に、御文の御詞御入れ候ふをよみまますを御覧じて、それはなんぞと御尋ね候ふあひだ、御文にて候ふよし申し上げ候へば、それこそ肝要、信仰してきけと仰せられけりと云々。

『蓮如上人御一代記聞書』二百五十三

### 《現代語訳》

これも蓮悟さまの夢の記録です。文龜三年十二月二十八日の夜の夢である。蓮如上人が法衣に袈裟というお姿で襖をあけてお出ましになったので、ご法話をされるのだ、聴聞しようと思っていたところ、衝立に書かれている御文章のお言葉をわたしが読んでいるのをご覧になって、「それは何か」とお尋ねになった。そこで、「御文章でございませう」と申しあげると、「それこそが大切である。心してよく聞きなさい」と仰せになったのである。

### 2020 (令和2) 年 恩講・秋参り (家庭報恩講) 日程についてお知らせ

本年の恩講・秋参り(家庭報恩講)の日程についてお知らせします。恩講の期日が未定の地区(古賀西)は早めに相談をお願いします。遠方(熊本市・益城町・御船町・宇城市、延岡市・日向市、宮崎市、高千穂町)と中入・大平、渡瀬、山都町の秋参り(家庭報恩講)の日程はハガキでお知らせします。なお、葬儀が入りましたら秋参り(家庭報恩講)の日程は変更します。お座のない恩講はそれぞれのお家のお参りだけになります。

#### ■ 恩 講

10月	27日	波帰
11月	1日	深谷・折立・矢惣園
	9日	広瀬
	12日	小川の内
	14日	大石敷、古賀東
	17日	本屋敷、木合屋
	18日	本水流・木
	19日	長峰
	20日	揚スナ
	22日	萩原・原尾野
	23日	倉本
	24日	道上
12月	4日	荒谷

#### ■ 秋参り (家庭報恩講)

10月	12日	東光寺、寺村、中園
	16日	予備日
11月	9日	原目川、三ヶ所
	12日	下川の瀬
	14日	一